

究く窮ぐ諸しよ深じん	殊しゆ威い三さん戒かい	響こう正しやう超ちやう如によ	猶ゆう皆かい珠しゆ日ぢ	無む如によ威い光こう	讚
其ご深じん仏つ諦たい	勝しやう徳とく味まい聞もん	流る覚がく世来らい	若やく悉しつ光こう月がつ	与よ是ぜ神じん顔げん	佛
涯がい尽じん法ほつ善ぜん	希け無む智ち精しやう	十じつ大だい無む容やう	聚じゆ隠おん炎えん摩ま	等とう炎えん無む巍ぎ	偈
底たい奥のう海かい念ねん	有う侶りよ慧え進じん	方ほう音おん倫りん顔げん	墨もく蔽へい耀にやう尼に	者しや明みん極ごく巍ぎ	
為い一いつ普ふ吾ご	智ち如によ戒かい布ふ	靡み過か斉せい願がん	震しん光こう智ち功く	神じん人んに世せ無む	
作き切さい行ぎやう誓せい	慧え是ぜ忍にん施せ	不ふ度と聖しやう我が	動どう明みん慧え勲くん	徳とく雄の尊そん明みん	
大だい恐く此し得とく	為い三さん精しやう調ちやう	解げ生しやう法ほつ作き	大だい威い深じん広こう	無む師し永よう欲よく	
安あん懼く願がん仏ぶつ	上じやう昧まい進じん意い	脱だつ死じ王おう仏ぶつ	千せん相そふ妙みやう大だい	量りやし無む怒ぬ	
道どう其ご国こく令りやう	威い如によ徧へん光こう	無む復ぶ諸しよ譬ひ	堅けん不ふ斯し供く	数しゆ無む百ひやく仮け	
場じやう衆しゆ土とど我が	神じん是ぜ此し明みん	数しゆ不ふ仏ぶつ如によ	正しやう如によ等とう養やう	如によ量りやう千せん使し	
超ちやう奇き第だいい作き	難なん精しやう諸しよ悉しつ	刹せつ可かせ恒ごう	不ふ求ぐ諸しよ一いつ	恒ごう大だい億おく有う	
絶ぜつ妙みやう一いち仏ぶつ	量りやう進じん国こく照しやう	土とど計け界かい沙しや	却きやう道どう仏ぶつ切き	沙しや聖しやう万まん仏ぶつ	
忍にん我が諸しよ仮け	知ち常じやう智ち十じつ	力りき発ほつ是ぜ幸こう	快け已い心しん十じつ	度とど我が而に国こく	
終じやう行ぎやう苦く令りやう	我が令りやう慧え方ほう	精しやう願がん我が仏ぶつ	楽らく到とう悦つ方ほう	脱だつ当とう無む如によ	
不ふ精しやう毒どく身しん	心しん此し無む世せ	所しよ於の真しん信しん	安あん我が清しやう来らい	一いつ哀あい等とう泥ない	
○悔け進じん中ちゆう止し	行ぎやう尊そん碍げ尊そん	欲よく彼ひ証しやう明みん	穩の国こく浄じやう生しやう	切さい愍みん双そふ洹おん	

往おう	同どう	平びやう	願がん	回	南な	南な	南な	南な	南な	南な	短
生じやう	発ほつ	等とう	以に		無ま	無ま	無ま	無ま	無ま	無ま	念
○安あん	菩ぼ	施せ	此し		阿あ	阿あ	阿あ	阿あ	阿あ	阿あ	
○楽らく	提だい	一いつ	功く	向	弥み	弥み	弥み	弥み	弥み	弥み	仏
○国こく	心しん	切き	徳とく		陀だ	陀だ	陀だ	陀だ	陀だ	陀だ	
					○仏ぶ	仏ぶ	仏ぶ	仏ぶ	仏ぶ	仏ぶ	